

開講年次・時期	2年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC210	科目名	福祉住環境コーディネーター概論	担当者名	小笠原 仁美
授業の概要	高齢者・障がい者の身体、精神、生活、福祉用具や利用空間に関する理解と、生活要求に対応する知識を習得し、福祉住環境整備の一部始終を統括して見渡すことができる「福祉住環境コーディネーター」としての知識や技術を習得する				
科目の到達目標	・高齢者・障害者の身体、精神、生活、福祉用具や利用空間に関する理解を深める ・福祉住環境コーディネーターとしての基本的な知識や技術を習得する ・概ね福祉住環境コーディネーター2級の資格取得を目指す（概ね2級の検定試験範囲を考慮した内容である）				
DPの観点	⑤社会性 ⑥専門知識・技能 ⑧実践力				
授業時間外学修（予習・復習）	・普段利用する場所（デパート、駅、銀行など）について、「車いすを使用して行動する」「何らかの障害を持った状態で行動する」と想定して日々観察すること ・配布する課題について、30分程度予習・復習する				
フィードバックの方法	課題の返却やコミュニケーションカードにてフィードバックする				
単位認定の要件	授業内状況により総合的に評価する				
評価の方法・割合（％）	授業内小テスト40％、期末試験40％、授業内活動20％				
履修上の注意事項	福祉住環境コーディネーターの資格取得には、本講義とは別に公的試験を受験する必要あり				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			福祉住環境コーディネーターの役割と意義、検定試験について 高齢者・障がい者と福祉住環境整備	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
2			高齢者を取り巻く社会状況	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
3			日本の福祉住環境・福祉住環境整備の進め方	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
4			高齢者・障がい者の特性について	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
5			高齢者に多い疾患について	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
6			障害をもたらす疾患について	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
7			福祉住環境整備の基本技術	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
8			生活行為別福祉住環境整備の方法（1）	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
9			生活行為別福祉住環境整備の方法（2）	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
10			福祉住環境整備の実践	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
11			福祉用具とは 福祉用具の使い方（杖、歩行器、車いす）	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
12			福祉用具の使い方（リフト、入浴・トイレの福祉用具）	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
13			福祉用具の使い方（義肢と装具の役割）	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
14			総合問題（1）	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
15			総合問題（2）	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
期末試験			試験 まとめと確認		確認試験

使用テキスト	ユーキャンの福祉住環境コーディネーター2級 速習レッスン（ユーキャン）
参考文献 参考URL	福祉住環境コーディネーター検定試験2級公式テキスト 東京商工会議所
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--